

# 「強い大阪」の実現を目指して 大阪は動き出しています

## 次代をみすえて、防災力向上、成長戦略、雇用促進

大阪府議会5月定例会が5月20日に開会され18日間の会期を経て6月6日に閉会しました。

この定例会では、松井知事提出の平成26年度補正予算案などが審議され、同予算案やOTK（大阪府都市開発株式会社）株式売却議案等27議案が可決されました。

大阪維新府議団は、本会議の一般質問や常任委員会で、大阪の再生を図り、東西二極の一極を担う「強い大阪」の実現を目指した取り組みなど幅広く府政の諸課題について、知事、教育長及び関係部長らと真剣な議論を行いました。

### 大阪府議会5月定例会 大阪維新大阪府議会議員団



松井知事の議案説明

### 可決・成立した主な議案

#### OTK株式売却

泉北高速鉄道やトラックターミナル（東大阪・茨木）を運営する第3セクターOTKの株式について、南海電気鉄道株式会社と子会社・関連会社の7社に750億円で売却する議案が可決されました。

府はこのうち367億5000万円を取得し、今後、広域インフラ整備等の大阪府施策に活用されます。

#### 補正予算案 [2億3900万円]

- 大阪・光の饗宴  
(御堂筋イルミネーション)
- 大坂の陣400年  
プロジェクトの推進
- 水都大阪の水辺活性化事業
- 被災農業者向け  
経営体育成支援事業



### 平成26年度 府議会各役職が決まる

#### 議長に岡沢健二議員 副議長に永野孝男議員が就任

平成23年度から3年議長を務めた浅田均議員が5月23日に退任し、同日、後任に大阪維新の岡沢健二議員が選任され就任しました。また、副議長も公明の議員が退任し、大阪維新の永野孝男議員が選任され同日就任しました。

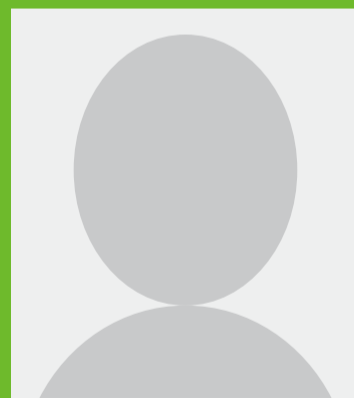
#### 監査委員に藤原敏司議員

議員から一人選出する大阪府監査委員に、大阪維新の藤原敏司議員を選任する人事案件が知事から提出され、全会一致で同意し、同議員が就任しました。

### 平成26年度 所属常任委員会

5月23日、平成26年度における各議員の所属常任委員会が決まりました。

- 議員は、
- 常任委員会委員に  
選任されました。



#### 府議会で統一会派を結成し 代表に青野剛暁議員が就任

5月1日、大阪維新の会大阪府議会議員団(50人)は、みんなの党府民会議(1人)と、統一会派を結成し、代表に青野剛暁議員を選任しました。

### 特集「大阪都構想とは」 「大阪府市再編で生まれるお金の話」

「大阪都」になれば、特別区には20年後に2900億円以上の再編効果と、1300億円以上の活用可能財源が生まれます。



#### では、新たな広域自治体 「大阪都」には？

府・市による財政シミュレーションによると、845億円もの活用可能財源が生じます。

私たちはこれらを次世代のための新たな投資にもしっかりと活かしていきます。



#### 再編効果と現状維持を比較

再編効果額  
平成45年までに  
約2917億円

活用可能財源  
平成45年までに  
約1375億円

現状維持  
都構想が実現しないと  
平成45年までに  
約2323億円の赤字



### 全国初の罰則付条例 客引き行為禁止条例 6月1日施行

大阪維新の会は、キタ、ミナミの商店会連盟をはじめとする地域の方々からの要望を受け、府議団・市議団共同で「客引き行為規制検討プロジェクトチーム(西田 薫PT長)」を平成25年6月に立ち上げ、法的規制に向けた取り組みを行ってきました。

悪質な客引き行為の現状や条例化の罰則規定の扱いなどの諸課題を検討するとともに、既に条例施行の東京都豊島区、新宿区、警視庁への視察も行き、同年9月にこれらの議論や調査の結果をまとめ、知事と大阪市長に提言書を提出しました。

その結果、本年5月、大阪市会において、繁華街でのあらゆる客引き行為を禁止する罰則付きの「大阪市客引き行為等の適正化に関する条例」が可決され、6月1日から施行されました。



東京都新宿区の繁華街を視察

※数値は「第10回大阪府・大阪市特別区設置協議会資料 財政シミュレーション(一般財源ベース)」を参照(平成25年12月6日発表)